

「他社訂正申請」案件を  
新証拠として裁判所に提出

編集部

原告の自由社は、10月13日の第5回期日に合わせて、被告・文科省の「違法検定」を裏付ける新たな証拠を裁判所に提出しました。

これは、本来なら検定の時点において、「検定意見」がつくべき記述が自由社を除く各社では多数見逃されており、検定合格後に、各社が自主的に訂正を行っていたという事例です。

今回証拠として提出されたのは教育出版、日本文教出版の2社の訂正申請状況です。下表の訂正例はその一部ですが、誤記等の単純ミスが多く見逃されていることがわかります。これで自由社のみ殊更厳しく、他社には甘い検定を行っていたことが明らかになりました。次回期日（来年2月）以降の被告の弁明に注目です。

出版社	教育出版	日本文教出版
<参考>令和元年度検定における検定意見数	20件	44件
その後の訂正申請数	710件	626件
そのうち、妥当な訂正	234件	129件
本来なら検定意見が ついたらと推測される訂正	476件	497件
訂正例①	ほんりゅうじ⇒ほうりゅうじ (「法隆寺」ルビ誤り)	がいどう⇒かいどう (「街道」ルビ誤り)
訂正例②	つきじ⇒ついじ (「築地」ルビ誤り)	み⇒うみ (「海」ルビ誤り)
訂正例③	あさがさ⇒あみがさ (「網笠」ルビ誤り)	やすただ⇒やすさだ (人名ルビ誤り)
訂正例④	万里の長城の写真 (世界遺産マーク付け忘れ)	123.3センチ⇒125センチ (不正確)
訂正例⑤	埴輪の写真 (国宝マークの付け忘れ)	いてしまい、⇒してしまい、 (誤記)
訂正例⑥	むら⇒ムラ (表記の不統一)	痛み⇒傷み (誤記)
訂正例⑦	7歳⇒6歳 (表記の不統一)	掛け軸⇒掛軸 (表記の不統一)
訂正例⑧	紀元前4世紀⇒紀元前6世紀ごろ (事実関係の誤り)	百万塔陀羅尼⇒自心印陀羅尼經 (作品名の誤り)
訂正例⑨	後冷泉⇒後三条 (誤記)	ステップ3⇒ステップ2 (誤記)
訂正例⑩	長崎港図⇒長崎港俯瞰細密画 (絵図名称の誤り)	知恩寺⇒知恩院 (所蔵元名の誤り)